

課題名	内視鏡的分子イメージングを視野に入れた共焦点レーザー顕微内視鏡を用いた Optical biopsy の適応拡大
研究代表者と所属	斎藤豊（中央病院・内視鏡科）
共同研究者と所属	阿部清一郎、高丸博之、他（中央病院・内視鏡科）

## ■課題情報

機器分類 ( )内は一般的名称等*	該当に○（複数可）				いずれかに○	
	新規性				新規製品	既製品の改良
	方法	機構	材料	他		
診断機器 ( )	○					
治療機器 ( )						
手術機器・器具 ( )						
その他 ( )						

\*「一般的名称等」は薬機法上の「一般的名称」または「内視鏡」「放射線機器」などでも可。

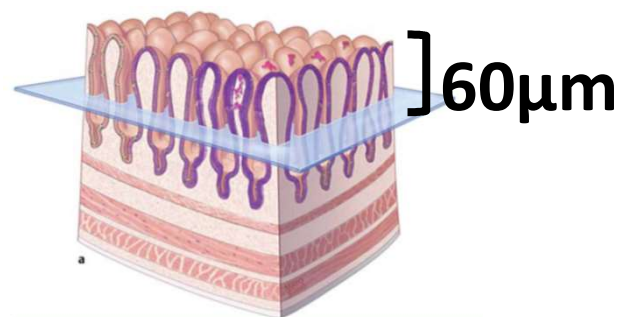
## ■進捗状況（実施済は●、現段階は○、未実施は空欄、該当せずは×）

クラス 分類	ニーズ抽出 含アジェンダ	アカデミア 連携	企業マッチング			特許 出願	試作	製品 化	臨床 研究	治験	保険 適用
			開発 合意**	NDA	共同研究 契約						
								●	○		

\*\*「開発合意」は企業が開発に合意している場合に○。

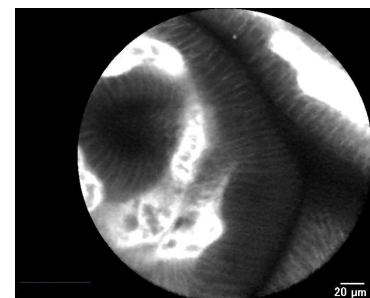
## ■詳細情報

対象疾患	消化管癌
医療現場ニーズ	現状では消化管病変の診断は、生検検体による病理組織診断に依存。
アセットの概要	消化管病変に対して組織診断を行わずにリアルタイムかつ簡便に精度の高い内視鏡診断が可能になれば、生検による組織学的診断を減らして患者に対する侵襲をより少なくできる。分子標的薬の治療対象の適切な選択や、化学療法早期治療効果判定を目的とした内視鏡的機能イメージングや分子イメージングに応用可能である。
関連する研究費 (申請中を含む)	AMED 若手B
論文、特許、共同研究等	なし

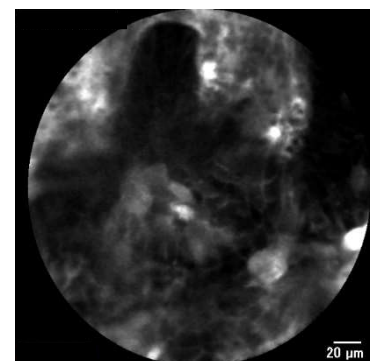


1000倍

光学的  
病理診断



正常



胃癌

胃癌診断におけるpCLEの有用性を明らかにし、フルオロセイン静脈投与の適応拡大につながるエビデンスを確立する。